

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 671 2023年 9月号 1部60円 発行 東京勤労者医療会代々木病院 院長 河邊 博正 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7 TEL 03(3404)7661 http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

4年ぶりに開催

健康講座

身近な病院であり続けたい

河邊院長が医療理念等を講演



約70名が参加 (講演する河邊院長)

7月22日、代々木健康友の会と代々木病院の共催で「健康講座」を開催、近隣にお住いの患者さん、代々木健康友の会の会員さんなど約70名の方々が会場に足を運びました。コロナ禍の影響で4年ぶりの開催となりました。今回は「身近な病院であり続けたい」というテーマで河邊院長が「代々木病院が地域住民にとって身近な病院となるための役割」について講演しました。

核廃絶に向けて声をあげなければ

2023原水禁世界大会は8月7日〜9日まで長崎大会が開催され、

はじめに河邊院長自身の生い立ちも含めた自己紹介がされ、職員も初めて聞くようなエピソードもありました。続いて、渋谷地域での高齢化が進む中、介護保険や高齢者施策の活用について、介護サービスや施設、相談窓口について説明しました。また諸制度の活用とともに制度をより一層充実させる必要性にも触れました。

次に、地域の高齢者の健康を支える代々木病院講演後の質問コーナー

想像していた何倍も悲惨 自ら知ろうとしない限り真実見えず

代々木病院から4年ぶりに1年目職員3名、代々木健康友の会の布施会長が代表として現地参加しました。8月16日の全職員集会で、参加者報告会

だこと、渋谷平和行進への参加、また病院全体で折鶴の作成や、代表派遣のための財政活動に取り組んだことについて報告しました。また核抑止論

原水禁世界大会に参加して 看護師 上根真子 看護学校で戦争や原発

公園で折り鶴を奉鶴し犠牲者を追悼、原爆資料館を見学して原爆投下の悲惨さと核廃絶の必要性を再確認したことが報告されました。

では、外来の充実を要望する声に対して、河邊院長から「医師体制の厳しさからすべての外来診療科を置くことが困難な状況にあること、そうした中で地域の医療機関と連携強化を図りながらこまやかな対応を行っていきたい」と心えました。

千駄の萱

私が暮らしている町には『西平和の鐘』があります。これは「人間国宝」故香取正彦氏が